

2016
版

安全報告書

～安全への取組～



平成29年9月

一畑電車株式会社



も く じ

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

社長ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3)

2. 安全確保に関する基本方針と目標

(1) 安全基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

(2) 2017年度安全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

3. 安全管理体制

(1) 安全管理組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(2) 各管理者の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

4. 輸送の安全の実態(2016年度の事故等発生状況)

(1) 鉄道運転事故・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

(2) 輸送障害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

(3) 災害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

(4) インシデント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

(4) 行政指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

5. 安全重点施策の内容

(1) 安全重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

(2) 安全投資・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(8)

(3) 社員教育・訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(8)

(4) 乗務員の資質管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(10)

(5) 踏切道の安全対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(10)

(6) 自然災害対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(11)

6. 地域の皆様へお願い

(1) 踏切事故防止にご協力ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(11)

(2) 線路でのいたずら防止にご協力ください・・・・・・・・・・・・(12)

(3) AED(自動体外式除細動器)の設置・・・・・・・・・・・・(12)

(4) 防犯カメラの設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(12)

(5) ホーム上の安全確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

(6) こども110番の駅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

(7) ご意見箱の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

7. お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(14)

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

平素より、当社鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、各事業年度における安全の取組の実績、その他安全に関する情報について、公表するものでございます。

2016年度、弊社におきましては、役職員全員が社内に制定する安全の確保を最優先とする安全基本方針に基づき輸送の安全確保に努めると共に、一畑電車沿線地域対策協議会様並びに沿線地域の皆様の厚いご支援により、安全に関わる設備を積極的に改善してまいりました。

車両につきましては、86年ぶりに新型車両7000系を導入いたしました。これを契機にダイヤ改正を行い、更なる利便性向上と安定輸送を目指してまいります。

また、2011年度から始めました「一畑電車支援計画」に基づいて積極的に安全強化を推進した結果、鉄道運転事故（有責事故）「0件」、インシデント（事故の兆候）「0件」を達成することが出来ました。

今後も有責事故はもちろん、インシデントを始めとするあらゆる事故の発生を防止し、併せて近年増加傾向にある自然災害に伴う輸送障害に備え、お客様が安心してご利用いただける交通機関を目指して更なる努力をしております。

この報告書を是非ご覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。



一畑電車株式会社

代表取締役社長 吉田伸司

2. 安全確保に関する基本方針と目標

(1) 安全基本方針（行動規範）

当社の基本方針は、「安全・安定的な輸送サービス」を提供することを第一義とし、社長以下全社員に対して次のとおり安全に係わる行動規範を定め周知・徹底を図っています。

- ①安全の確保を最優先とし、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関係する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのある時はもっとも安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤事故又は事故のおそれのある事態、災害、その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、相互に協力して速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- ⑥安全に係わる情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝え、その共有化を図ります。
- ⑦常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

(2) 2017年度安全目標

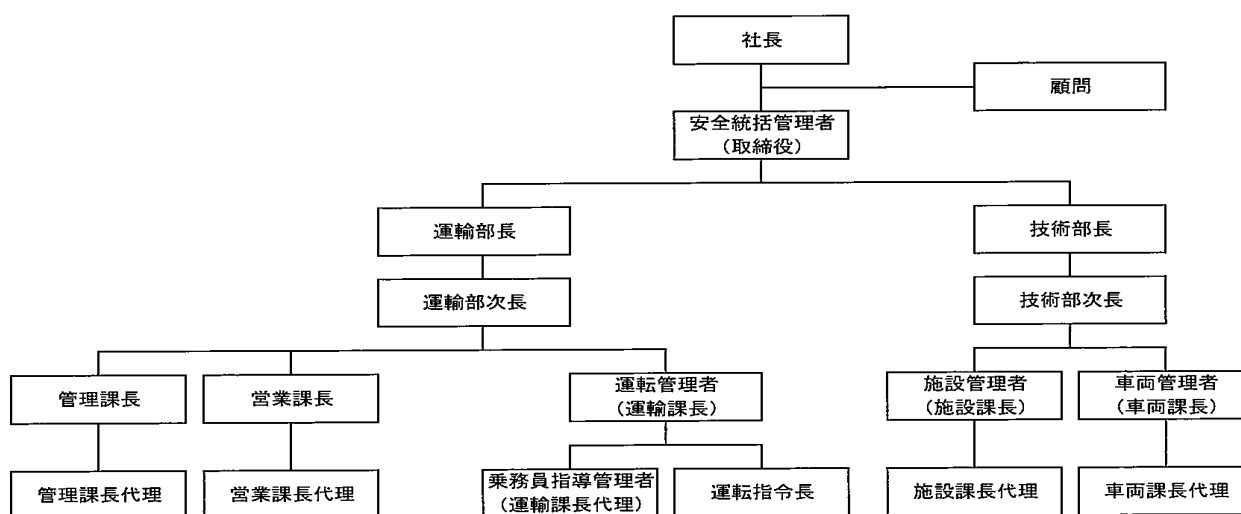
当社においては2017年度安全目標を次のとおり定めています。

項目	内容
鉄道運転事故	有責事故を発生させない
インシデント（事故の兆候）	発生させない

3. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用いたしました。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 取締役	輸送の安全に関する業務を統括する。
運転管理者 運輸課長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。

乗務員指導管理者 運輸課長代理	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 施設課長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 車両課長	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
技術部長	安全統括管理者の指揮の下、施設及び車両に関する事項について、相互の部門間の整合性を確認するとともに、輸送の安全の確保をするため、各部門を統括管理する。
技術部次長	技術部長の指揮の下、施設及び車両に関する事項を掌握し、運行計画との整合性を検証し統括する。
運輸部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送業務の実施及び管理方法を確認し、輸送の安全の確保に必要な事業計画に関する事項を統括する。
運輸部次長	運輸部長の指揮の下、安全対策及び事故防止に関する事項を統括する。

(3) 安全対策委員会

毎月1回安全統括管理者の下、管理職全員で月ごとの事故事例の検証と対策を話し合い、安全対策を協議致します。

(4) 内部監査

安全管理規定に基づき各職場長に対し安全に関する確認を行っています。

4. 輸送の安全の実態（2016年度の事故等発生状況）

(1) 鉄道運転事故

2016年度、運転事故は踏切障害事故が1件発生致しました。

(2) 輸送障害（30分以上の遅延または運休）

2016年度、弊社における輸送障害は、車両故障による運休が1件、自然災害による運休、遅れが5件、保安装置故障による運休が1件、踏切内で自動車の進入で運休、遅延が2件、動物との衝突、倒木による運休、遅延が2件発生致しました。ご利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

事故・輸送障害の発生件数

	H24	H25	H26	H27	H28		H24	H25	H26	H27	H28
列車衝突事故	0	0	0	0	0	社内原因	6	5	3	8	2
列車脱線事故	0	0	0	0	0	社外原因	4	0	1	2	4
列車火災事故	0	0	0	0	0	自然災害	4	4	2	3	5
踏切障害事故	2	0	1	2	1	合計	14	9	6	13	11
道路障害事故	0	0	0	0	0						
鉄道人身傷害事故	0	0	0	0	0						
鉄道物損事故	0	0	0	0	0						
合計	2	0	1	2	1						

(3) 災害（地震、風雨等による被害）

2016年度、弊社における災害による事象はありませんでした。

(4) インシデント（事故の兆候）

2016年度、インシデントは発生しておりません。

(5) 行政指導

ありませんでした。

5. 安全重点施策の内容

(1) 安全重点施策

2011年度から沿対協の補助体制が変わり、2020年度までの10年間にわたる長期支援計画を策定し6年が経過しました。これまでの事業効果の検証として、安全性の向上及び車両の乗り心地向上が確認されました。また国費を活用した安全輸送設備等事業費補助金による設備投資を含め、安全に係わる投資は次のとおりの結果及び計画です。

項 目	2016年度実績	2017年度計画
道床交換	1,568m	1,248m
継目落対策（継目マクラギ挿入）	73本	—
支持物改良（CP柱化）	22本	—
吊架線更新	4,765m	—
列車集中制御装置	9箇所	—
列車無線設備更新（車上局）	2台	6台

列車無線設備更新（地上局）	—	2箇所
電車線更新	1,379m	—
踏切送受信器更新	12台	—
A T S新設	13箇所	—
遠方監視制御装置更新	—	3箇所
道床つき固め	3,790m	5,100m
車両更新	2両（新造単車）	2両（新造単車）

（2）安全投資

2016年度沿対協による基盤設備維持補助金は、1億6,520万円、安全輸送設備等事業費補助金は、6億6,552万円でした。

安全な運行を行うために設備の更新を行っています。



道床つき固め工事



踏切遮断機取替工事



踏切動作反応灯取替工事

バリアフリー、列車の増便でサービス向上を目的とし新造車両を導入致しました。



新型車両導入（7000系）



（3）社員教育・訓練

2016年度安全に係わる教育及び訓練を行いました。

【施設課】

机上での実施基準教育、列車防護訓練を行いました。



【車両課】

車両実施基準の変更に伴う机上教育を実施、また、新造車両の車両構造教育を行ないました。



【運輸課】

異常時の時も冷静に判断し安全運行を行うため、机上教育、運転取扱訓練を行いました。



【一畑電車総合事故対応訓練】

過去の重大事故を教訓として、事故を風化させないための訓練を行いました。



社長挨拶



警察、消防との連携



救出訓練



脱線復旧



線路復旧



架線復旧

【JR西日本米子支社合同事故対応訓練】

JR西日本米子支社様と合同で並行区間での事故を想定した復旧訓練を行いました。



開会式



運転指令連絡体制確認



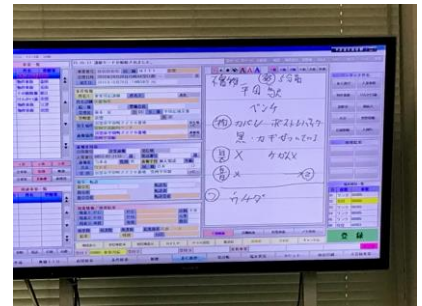
乗客救出

【公共交通機関等テロ対策協議会：BC 対処通報訓練】

テロ対策訓練を島根県警機動隊と連携し、不審物発見時の初動訓練を行いました。



訓練経過



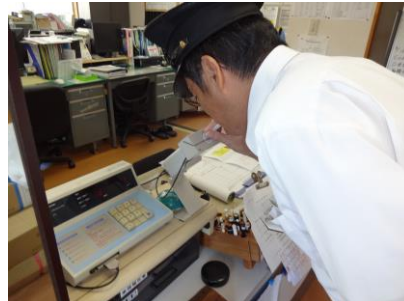
モニター確認

(4) 乗務員の資質管理

乗務員は安全意識を持ち、出勤時の点呼、飲酒検査を行い安全運行に心がけます。



厳正な点呼



飲酒検査



添乗指導

(5) 踏切道の安全対策

踏切内での立ち往生事象、及び遮断桿折損事故等が多く発生する踏切には、踏切監視カメラを設置し、列車との衝突事故を未然に防止するシステムを導入いたしました。



踏切障害物検知装置



全方向踏切警報灯



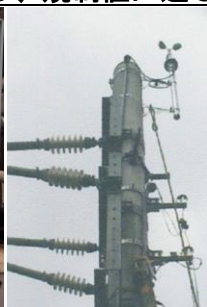
踏切監視システム

(6) 自然災害対策

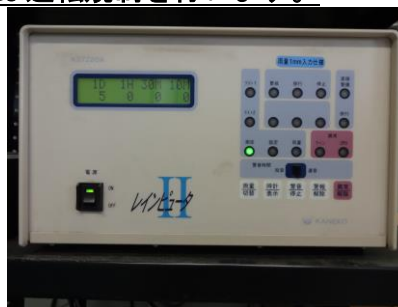
沿線の風速や雨量を観測し、規制値に達した時は運転規制を行います。



風速記録



風速計



雨量記録



雨量計

パンタグラフに積もった雪を乗務員が取り除きます。



6. 地域の皆様へお願い

(1) 踏切事故防止にご協力下さい。

2016年度においても、踏切での一旦停止及び左右の安全確認を怠ったことが原因による踏切支障等が18件、踏切遮断桿の折損等が10件発生しています。これらにつきましては、いずれも重大事故には至っていませんが、このような状況は列車の定時運行に影響を及ぼし、利用して頂く乗客の皆様にご迷惑を与えると共に、踏切を横断される方の死傷事故にも繋がる行為です。踏切では必ず一旦停止され、安全を確認の上お渡りください。

踏切事故防止キャンペーン期間中、保育園を訪問し園児に踏切の横断についてお話をしました。



第4種踏切道での事故を防ぐため踏切警標を交換しました。また、踏切での異常を発見したときは非常ボタンを押し、列車に知らせてください。



第4種踏切道警標交換



踏切非常ボタン

(2) 線路でのいたずら防止にご協力下さい。

線路内での置石や投石などのいたずらは、刑法第十一章「往来を妨害する罪」に問われます。線路施設内には入らないよう、また障害を発見した場合は直ちにご連絡をお願い致します。
(一畑電車 運輸部運輸課 0853-62-3021)

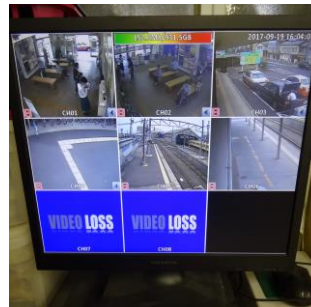
(3) AED (自動体外式除細動器) の設置

AED(自動体外式除細動器)設置箇所
電鉄出雲市駅、出雲大社前駅、雲州平田駅
松江しんじ湖温泉駅に設置しています。



(4) 防犯カメラの設置

全ての有人駅、無人駅については
順次防犯カメラを設置し犯罪を抑止
いたします。(20 駅設置済)



(5) ホーム上の安全確保

ホームからの転落事故防止のため、内方線付点状ブロックの設置を順次進めてまいります。
又、歩きスマホによる転落事故防止のための
注意喚起も行っております。
皆様のご協力をお願いいたします。



(内方線付点状ブロックの設置)

(6) こども110番の駅

当社の有人駅では、「こども110番の駅」の取組みを行っています。こどもが助けを求めてきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行います。また、被害にあった時だけではなく、日頃から安全・安心への配慮と安全・安心な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しくフレンドリーな優しい駅を目指しています。

実施駅・・・松江しんじ湖温泉、一畑口、雲州平田、川跡、電鉄出雲市、出雲大社前各駅

(7) ご意見箱の設置

当社では、利用者の皆様のお声をお聞きするために、有人駅（7駅）にご意見箱を設置し安全及びサービスの向上に反映させています。皆様からのご意見をお寄せください。

7. お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社への取組みに関するご意見は下記までお寄せ下さい。
皆様からのご意見お待ちしております。

一 畑 電 車 株 式 会 社	
TEL 0853-62-3383	FAX 0853-62-3384
E-mail tetsudou@densya.ichibata.co.jp	
■ 月～金 9：00～17：00（年末年始を除く）	